

グループリビングえんの森入居者 三石^{やすこ}恵子さんに

インタビューさせていただきました！

グループリビングえんの森開設から14年、居住者の顔ぶれもすっかり入れかわり、それぞれの暮らしを楽しんでおられます。今回は昨年12月に入居された三石さんにインタビューしました。

グループリビングえんの森を選んだ理由は？

上野千鶴子さんの「おひとり様の老後」などにグループリビングのことがあり、影響されました。10年ほど前、開設もないえんの森を川口の方々と見学に伺い、いずれここに入ろうかなと思っていました。

最近は独り暮らし高齢者を狙った詐欺や強盗、怖かったです。古い木造の家は寒い。灯油ストーブで冬をしのぐのはたいへんでした。ここは床暖房がはいついて、それが決め手かな。

入居して住み心地はいかがですか？

住み始めて、想像以上に生活は個人に任されていて自由なことがわかりました。夕食以外、朝食と昼食は自分で調理するのもわたしには合っています。

新座市外から引っ越してきたので、居住者の方々にいろんなこと（買い物先や散歩道など）を教えていただき、ありがたかったです。

三石さん流にグループリビングえんの森を紹介していただけませんか。

建物の前は雑木林で朝は鳥のさえずりで目覚め、散歩コースは無数にあります。床暖房は快適です。たまに居住者の皆さんとおしゃべりを楽しむことができます。

ほかに伝えたいことをどうぞ！

都市部の川口市、蕨市しか住んだことがなかったので、きれいな川が流れて、畑があって、散歩ができ、あちこちに野菜の直売所があり、水がおいしい。新座の住民になれて嬉しく思っています。



グループリビングえんの森 夕食風景